

令和6年第8回定例教育委員会会議録

1 開催日	令和6年8月19日(月)		
2 開催場所	市役所本庁舎601会議室		
3 出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美 委 員 野 中 亮 秀 委 員 古 田 重 紀		
4 欠席した委員	なし		
5 説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 伊 藤 京 子 こども未来部長 川 尻 卓 哉 健康生きがい支え合い推進部次長 小 川 真 治 教 育 総 務 課 長 兼 学 校 教 育 ICT 推 進 室 長 丸 藤 卓 也 学 校 給 食 課 主 幹 小 川 敬 介 学 校 教 育 課 長 吉 田 隆 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 瀬 尾 宗 利 文 化 財 課 長 兼 小 牧 山 課 長 武 市 礼 子 文 化 ・ ス ポ ー ツ 課 長 藤 田 伸 也 東 部 市 民 セ ン タ ー 所 長 松 浦 正 記 こ ども 政 策 課 長 小 川 喜 世 子 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 主 幹 舟 橋 賢 治 教 育 総 務 課 庶 務 係 長 遠 山 史 織	健康生きがい支え合い推進部長 江 口 幸 全 教 育 部 次 長 矢 本 博 士 こ ども 未 来 部 次 長 野 田 弘 学 校 給 食 課 長 勝 山 貴 之 学 校 給 食 課 主 幹 平 手 明 仁 学 校 教 育 課 管 理 指 導 主 事 兼 主 幹 采 女 隆 一 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 兼 教 育 総 務 課 主 幹 長 谷 川 真 図 書 館 長 岩 本 淳 味 岡 市 民 セ ン タ ー 所 長 加 藤 吉 宏 北 里 市 民 セ ン タ ー 所 長 大 野 将 嗣 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 長 臼 井 勇 気 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 指 導 保 育 士 鈴 木 貴 子	
6 本委員会書記	教 育 総 務 課 庶 務 係 主 査 山 田 晶 尚 教 育 総 務 課 庶 務 係 主 任 河 村 俊 之		
7 議題	議案第35号 議会の議決を経るべき議案について 議案第36号 議会の議決を経るべき議案について 議案第37号 議会の議決を経るべき議案について		
8 報告及び連 絡事項	報告第1号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第2号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第3号 小牧市新たな学校づくり推進計画(案)に関するパブリックコメントの実施結果について 連 絡 事 項 9・10月行事予定 報告第4号 令和6年度小学校運動会・中学校体育大会について 報告第5号 小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について 報告第6号 行政文書の開示について 報告第7号 行政文書の開示について		

報告第 8号	令和5年度一般財団法人こまき市民文化財団事業報告及び収支決算について
報告第 9号	令和5年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業報告及び収支決算について
報告第10号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第11号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第12号	行政文書の開示について
報告第13号	東部市民センター駐車場補修工事に伴う一部区画・出入口封鎖について

<開会 午後2時00分>

公開会議

○教育長（中川宣芳）

ただいまより、令和6年第8回定例教育委員会を開催いたします。

それでは、7月11日開催の令和6年第7回定例教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおりご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

なお、第7回定例教育委員会では教科書採択が議題となっております。教科書の採択事務については、8月31日までが事務の期間になっておりますので、採択事務に関して静謐な環境を保持するため、第7回定例教育委員会の会議録は、9月1日に公表させていただきます。

続きまして、私から教育長報告をさせていただきます。

去る8月8日木曜日16時43分頃に宮崎県沖の日向灘で発生した地震により、気象庁は、同日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表し、今後1週間程度は大規模地震の発生が平常時に比べて相対的に高まっているため、有事に備えた早期の対応を呼びかけたところであります。小牧市におきましては、防災情報メールで市民への注意喚起を行うとともに、災害警戒本部体制を取り、「巨大地震警戒情報」が発出された場合への備えに努めてまいりました。

そうした状況下で、教育委員会といたしましても、9日金曜日の学校での部活動等、児童生徒の活動を中止し、翌10日土曜日から16日金曜日までの学校閉校日期間の児童生徒の安全確保の要請を全校長に指示し、情報配信メールにて保護者をお願いしたところであります。

国におきましては、15日木曜日17時で臨時情報の呼びかけを終了いたしました。本日19日から22日木曜日までの間に市内全小中学校で出校日が計画されておりますので、出校時には改めて大規模地震への備え、自らの身の安全を守る心構え等を指導するよう、各学校に要請したところであります。

いよいよ夏休みも後半に差しかかりまして、2学期に向けた準備に務める時期を迎えたところであります。2学期は学校行事等、様々な教育活動が計画されており、この時期に、入念に準備を進め、児童生徒一人ひとりに寄り添った指導・支援体制を改めて整備し、新学期がスタートできることを願っておるところであります。

いずれにしましても、市民生活はもとより、児童生徒・関係職員が健康で安全に笑顔あふれる日々を送ることができることを願う次第であります。

私からの報告は以上であります。

次に、部長報告をお願いします。

伊藤教育部長。

○教育部長（伊藤京子）

私からは、2件の報告をさせていただきます。

まず、市議会第3回定例会についてであります。

9月2日から10月1日までの予定で開催されます。提出が予定されております議案は、令和5年度の各会計の決算が12件、条例案が5件、一般議案が4件、補正予算案が5件、人事案3件の、合計29件であります。

教育委員会関係分の議案といたしましては、本日、議題として提出しております、条例案1件と、令和5年度一般会計歳入歳出決算、令和6年度一般会計補正予算であります。

次に、2つの団体から、中学校で使用する歴史教科書についての要望書の提出がありましたので、その写しを参考としてお手元に配付させていただきました。

報告は以上であります。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

それでは、議題に入ります。

初めに、議案第35号「議会の議決を経るべき議案について」、事務局の説明を求めます。

小川健康生きがい支え合い推進部次長。

○健康生きがい支え合い推進部次長（小川真治）

それでは、ただいま議題となりました議案第35号について、ご説明申し上げます。

資料の1ページをお願いいたします。

議案第35号「議会の議決を経るべき議案について」であります。

提出理由であります。この案を提出いたしますのは、議会の議決を経るべき議案について、意見を申し出るため必要があるからであります。

その内容につきましては、「小牧市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。

この条例の提出理由であります。2ページをお願いいたします。

この案を提出いたしますのは、小牧市公民館の改修に伴い、施設使用料の額を定める等のため必要があるからであります。

その内容につきましては、参考資料、条例案のあらましによりご説明を申し上げますので、3ページをお願いいたします。

1といたしまして、小牧市公民館の展示場につきまして、現在、1区分として使用料を定めておりますが、講堂南側の通路も展示場として利用可能とするとともに、小規模な展示にも対応できるよう可動壁などを用いて展示場を3つに区分するため、表のとおり使用料を定めるものであります。

2といたしまして、小牧市公民館の音楽スタジオにつきまして、公民館4階にある防音

室を新たに音楽スタジオとして整備するため、既存の音楽スタジオを音楽スタジオ1とし、新たに整備する音楽スタジオを音楽スタジオ2として、2時間以内につき420円と定めるものであります。

3といたしまして、この条例は、令和6年11月1日から施行しようとするものであります。ただし、1の展示場の使用料については、令和7年3月22日から施行しようとするものであります。

以上で、議案第35号の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明がありました議案第35号について、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第35号「議会の議決を経るべき議案について」は、原案について意見なしとすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議がないようですので、議案第35号については、原案について意見なしとすることといたします。

続きまして、議案第36号「議会の議決を経るべき議案について」、事務局の説明を求めます。

矢本教育部次長。

○教育部次長（矢本博士）

それでは、ただいま議題となりました議案第36号について、ご説明を申し上げます。

4ページをお願いいたします。

議案第36号「議会の議決を経るべき議案について」であります。

この案の提出理由であります。令和6年小牧市議会第3回定例会における、議会の議決を経るべき議案について、教育委員会の意見を申し出るため必要があるからであります。

その内容は、「令和5年度小牧市一般会計歳入歳出決算のうち教育委員会分について」であります。

5ページ、6ページをお願いいたします。

令和5年度教育費決算総括表であります。

10款教育費全体の歳出決算額は、6ページの一番左の欄に太枠で囲ってあります支出済額（B）の欄の一番上段であります。82億4,098万円余で、その右端に参考の数値がありますように、令和4年度に比べて、15億9,795万円余の減、率にしますと16.24%の減となっております。

その内訳であります。

1項教育総務費は26億7,112万円余で、昨年度比5,141万円余の減となっております。

2項小学校費は11億2,227万円余で、昨年度比10億834万円余の減となっております。これは、小牧南小学校改築事業で外構工事、旧校舎、体育館の解体工事が令和4年度末で完了したことが主な要因であります。

3項中学校費は7億5,671万円余で、昨年度比3,674万円余の増となっております。

4項幼稚園費は4億8,555万円余で、昨年度比6,402万円余の減となっております。

5項社会教育費は22億339万円余で、昨年度比4億655万円余の減となっております。これは、市民会館施設整備事業で市民会館整備工事費の減額などが主な要因であります。

6項保健体育費は10億191万円余で、昨年度比1億437万円余の減となっております。これは、さかき運動場施設整備事業でさかき運動場多目的グラウンド新設工事の入札執行残による減額などが主な要因であります。

次に、所管する教育委員会事務局関係の決算概要につきまして、ご説明を申し上げます。

内容につきましては、別冊1の令和5年度主要施策成果説明書（教育委員会分）で主なものをご説明させていただきます。

それでは、別冊1の1ページをお願いいたします。

10款教育費1項教育総務1目教育委員会費の主なものは、1の人件費で、教育委員会委員の報酬に係る経費であります。

2目事務局費の主なものは、1の人件費で、一般職24人分などをはじめ、2の教育委員会事務一般事業では、(2)の教育ネットワーク管理事業で、教育ネットワークにより教育委員会と学校との情報共有の円滑化に努めました。また、ネットワーク分離ソフトの導入により、パソコン1台で校務系・校務外部系の使い分けを可能とするなど、情報セキュリティ対策の強化と校務の円滑化の両立に努めました。

2ページをお願いいたします。

中段にあります5の次世代教育環境整備基金積立事業では、2億9,700万円余の基金の積立てを行いました。

3ページをお願いいたします。

3目教育指導費の主なものは、1の人件費では、(3)学校運営協議会委員で、今後の活動などについて意見交換を行いました。

4ページをお願いいたします。

4の児童生徒指導事業では、(1)いじめ・不登校対策事業で、カウンセリングや適応

指導教室の体制整備を行い、問題を抱える児童生徒への支援を実施いたしました。また、
（３）児童生徒指導特別支援事業で、学校生活サポーターを、令和５年度は２名増員の１
８名とし、支援体制の充実を図りました。

５ページをお願いいたします。

５の国際理解教育推進事業では、（２）外国人児童生徒教育推進事業で、語学相談員の
配置や、日本語初期教室での指導など、外国人児童生徒への支援を行いました。

６ページをお願いいたします。

中段にあります、７の教職員研修研究事業では、教職員各階層への研修を行い、教職員
の資質向上などを図りました。

７ページをお願いいたします。

８の特色ある学校づくり事業では、（１）特色ある学校づくり推進事業で、各小中学校
が企画した独自の教育活動に対して補助を行うなどの支援を行いました。

８ページをお願いいたします。

下段にあります、９の生徒支援事業では、（１）奨学交付金等交付事業で、経済的に恵
まれない生徒が高校に進学する際の奨学交付金を交付し、支援を行いました。

９ページをお願いいたします。

交付実績といたしましては、令和４年度の４５件から、令和５年度は９７件と、対象者
数の充実を図りました。

１０ページをお願いいたします。

４目給食センター費の主なものは、１の人件費で、一般職７人分をはじめ、会計年度任
用職員１人分及び学校給食運営委員会委員、学校給食用物資選定委員会委員の報酬を支出
いたしました。

中段にあります、２の東部学校給食センター管理運営事業、１１ページの３の北部学校
給食センター管理運営事業、１２ページの４の南部学校給食センター管理運営事業におい
ては、各給食センターの施設管理や委託費など、運営に係る経費を支出いたしました。

１３ページをお願いいたします。

２項小学校費１目学校管理費の主なものは、３の小学校施設管理事業では、光熱水費、
備品の購入等に係る経費を支出いたしました。

４の小学校施設営繕事業では、１４ページにわたりまして、各小学校において、普通教
室への空調機設置、トイレ改修など、安全で安心して学べる環境整備に要した経費をそれ
ぞれ支出いたしました。

１４ページをお願いいたします。

下段にあります、５の小学校情報システム管理事業では、校内サーバーの仮想化による
統合や、職員室内のネットワーク機器の更新及び教職員用のパソコンの更新などを行いま
した。

15ページをお願いいたします。

2目教育振興費の主なものは、2の児童就学支援事業では、(1)児童就学援助費等扶助事業で、経済的理由で就学が困難な児童に対し給食費や学用品費などの援助を行いました。

16ページをお願いいたします。

3の小学校教育振興設備整備事業では、小学校学習指導要領などに基づき、「わかる授業」のための教材整備を行いました。

17ページをお願いいたします。

3項中学校費1目学校管理費の主なものは、1の人件費で、一般職6人分をはじめ、3の中学校施設管理事業では、光熱水費、備品の購入等に係る経費を支出いたしました。

18ページをお願いいたします。

4の中学校施設営繕事業では、各中学校においてプール改修やトイレ改修など、安全で安心して学べる環境整備などの経費をそれぞれ支出いたしました。

5の中学校情報システム管理事業では、職員室内のネットワーク機器の更新及び教職員用のパソコン等を更新いたしました。

19ページをお願いいたします。

2目教育振興費の主なものは、先ほど、ご説明いたしました2項小学校費と同様に、2の生徒就学支援事業を行い、20ページをお願いいたします。3の中学校教育振興設備整備事業などの事業を実施し、支援の充実、教材の整備を図りました。

以上、学校教育関係の決算概要の説明とさせていただきます。

続きまして、社会教育関係のうち、教育委員会事務局所管分の決算概要について、ご説明をさせていただきます。

少し飛びまして、37ページをお願いいたします。

6目文化財保護費の主なものは、2の文化財保護一般事業では、38ページをお願いいたします。

(2)文化財啓発事業で、市民の歴史に関する興味関心をより高めるための講座の開催などに要した経費を支出いたしました。

3の文化財保護事業では、39ページをお願いいたします。

(2)文化財発掘調査保存事業で、埋蔵文化財包蔵地で、文化財保護法に基づく発掘調査を実施し、記録保存・把握に努めました。

また、(3)文化財環境整備事業で愛知県指定天然記念物岩崎清流亭の藤の保全及び藤棚の撤去などを行いました。

また、(4)(仮称)歴史民俗資料展示施設整備事業で、小牧市の歴史などを紹介する新たな展示施設の基本構想、基本計画を策定いたしました。

下段にあります、7目小牧山費の主なものは、1の史跡小牧山管理事業では(1)史跡

小牧山管理事業で小牧山の樹木の剪定・伐採など適切な維持管理に係る経費を支出いたしました。

40ページをお願いいたします。

(2) 史跡小牧山整備事業で、歴史館南側の第2工区において、織田信長が築いた石垣などの復元整備を行いました。

2の創垂館管理事業では、(1) 創垂館施設管理事業で、施設管理など運営や、令和3年度に完了した保存修理工事に関する報告書の刊行に係る経費を支出いたしました。

41ページをお願いいたします。

8目歴史館費の主なものは、2の小牧山歴史館管理事業及び42ページの3の小牧山城史跡情報館管理事業において、それぞれ施設管理など、運営に係る経費を支出いたしました。

43ページをお願いいたします。

9目図書館費の主なものは、2の図書館運営一般事業では、(1) 一般事務事業で、中央図書館、えほん図書館、各市民センター図書室の窓口業務や図書システムの保守の委託などを行いました。

また、(2) 図書等購入事業では、新刊図書等の積極的な収集に努めました。

45ページをお願いいたします。

中段にあります、3の図書館管理事業では、(1) 図書館施設管理事業で、施設の維持管理に係る経費を支出いたしました。

以上で、教育委員会事務局所管分の決算概要の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

野田こども未来部次長。

○こども未来部次長（野田弘）

続きまして、こども未来部所管につきましてご説明させていただきます。

お戻りいただきまして、21ページをお願いいたします。

4項幼稚園費1目幼稚園費の主なものは、1の人件費をはじめ、第一幼稚園の運営及びその施設管理に要した経費でございます。

22ページをお願いいたします。

6の幼稚園助成事業では、私立幼稚園の補助、私立幼稚園の保護者への保育料軽減のための補助、幼児教育・保育の無償化に伴う児童の保育料等に対する給付などに要した経費などであります。

少し飛びまして、30ページをお願いいたします。

5項社会教育費4目青少年育成費の主なものは、31ページをお願いいたします。

2の青年の家管理運営事業で、青年の家の管理運営などに要した経費などあります。

32ページをお願いいたします。

4の青少年健全育成推進事業では、(2)放課後子ども教室事業で、子どもたちが心豊かで健やかに成長できるよう様々な体験活動などの機会を提供するために実施し、33ページをお願いいたします。

(3)学校外活動事業では、ジュニアセミナーやこども自然体験活動を実施しました。

34ページをお願いいたします。

7のこども夢・チャレンジ推進事業では、(1)こども夢・チャレンジ推進事業として、「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、子どもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を実施しました。

35ページをお願いいたします。

8のこども夢・チャレンジ基金積立事業では、(1)こども夢・チャレンジ基金積立金といたしまして、学習支援事業「駒来塾」などの財源として5,942万6,226円を取り崩しましたので、令和5年度末の現在高として6億4,443万7,620円となりました。

以上で、こども未来部所管分の説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

小川健康生きがい支え合い推進部次長。

○健康生きがい支え合い推進部次長（小川真治）

続きまして、健康生きがい支え合い推進部所管分につきましてご説明をさせていただきます。

ページをお戻りいただきまして、24ページをお願いいたします。

5項1目社会教育総務費でございます。主なものは1の人件費で、(4)の一般職で28人分の人件費のほか、2の(2)の施設予約システム管理事業で、公共施設予約管理システムの管理運営に要した経費などがあります。

25ページをお願いいたします。

2目公民会費でございます。ページは、25ページから29ページにかけてとなります。主なものは、小牧市公民館、中部公民館及び東部・北里・味岡の3市民センターにおける各種講座の開催、施設の管理運営及び施設整備事業並びに地域3あい事業に要した経費であります。

30ページをお願いいたします。

3目市民会館費で、市民会館の管理運営及び令和5年度から令和6年度にかけて実施している大規模改修工事など施設整備事業に要した経費であります。

少しページをお進みいただきまして、35ページをお願いいたします。

中段の5目文化振興費であります。主なものは、1の文化振興一般事業で、美術館鑑賞共催事業及び中部フィルハーモニー交響楽団賛助会員会費、36ページをお願いいたしま

す。2の文化芸術振興事業でこまき市民文化財団への委託や補助を通じた各種文化振興事業に要した経費であります。

37ページをお願いいたします。

3の文化振興基金積立事業の令和5年度末の基金残高は、4億7,772万1,864円であります。

ページを少しお進みいただきまして、46ページをお願いいたします。

6項1目保健体育総務費でございます。主なものは、3のスポーツ推進事業で、各種スポーツ教室やスポーツ大会の開催及びスポーツ協会への委託や助成、並びに学校体育施設開放事業などに要した経費であります。

48ページをお願いいたします。

中段4のスポーツ振興基金積立事業の令和5年度末の基金残高は、10億2,948万1,724円であります。

その下の2目体育施設費であります。主なものは、2の体育施設管理事業で、49ページをお願いいたします。(2)の体育施設管理委託事業で、さかき運動場等、総合体育館の管理運営に要した経費、3の体育施設整備事業で、さかき運動場にフットサルやテニスなどができる多目的コートを2面整備するなど、体育施設の整備に要した経費であります。

以上で、健康生きがい支え合い推進部所管分の説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいまそれぞれに説明のありました議案第36号について、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

○委員（古田重紀）

よろしいですか。

○教育長（中川宣芳）

古田委員。

○委員（古田重紀）

先ほど、事務局からも説明がありました、別冊1の9ページの一番上の奨学交付金について、実績で見ると倍増しているのですが、倍増した経緯や、どのような見直しをしたのか教えてください。

○教育長（中川宣芳）

吉田学校教育課長。

○学校教育課長（吉田隆）

奨学交付金についてのお尋ねでございますが、高校進学育英資金の拡充を図るため、要綱の一部を「成績普通以上のもの」から「学習意欲があるもの」に改正し、不登校生徒や

特別支援学級生徒も対象としました。このような経緯から、令和5年度は、対象者を倍増させることとし、予算が倍増したものでございます。

以上です。

○教育長（中川宣芳）

古田委員。

○委員（古田重紀）

確認ですけれども、従来から、基本的には予算の範囲内で対象者を選定してきたということですのでよろしいでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

吉田学校教育課長。

○学校教育課長（吉田隆）

委員のご指摘のとおりで、予算の範囲内で選定しておりますので、倍増したということでございます。

○教育長（中川宣芳）

古田委員。

○委員（古田重紀）

受けたいという希望を持っていても、予算の関係から受けられない方もいると思うのですが、潜在的な対象者については、事務局として把握されていますか。

○教育長（中川宣芳）

吉田学校教育課長。

○学校教育課長（吉田隆）

中学校卒業時に、奨学交付金希望者の中から推薦者を選定し、学校長から申請してもらっています。そのため、希望者については、ある程度把握しております。また、委員のおっしゃるとおり、希望者全員が認められているわけではありません。

以上です。

○委員（古田重紀）

分かりました。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（古田重紀）

はい。

○教育長（中川宣芳）

ほかにもございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

10ページから12ページにあります、各給食センターの給食配膳状況の年間給食数が減少しています。これは、アレルギーの問題や児童生徒数の減少、宗教によって食べられない給食があった場合、お弁当を持参するなどの要因により、減少したのではないかと推測するのですが、想像以上に給食数が減少していると感じたため、年間給食数が減少した理由について詳しく教えてください。

○教育長（中川宣芳）

勝山学校給食課長。

○学校給食課長（勝山貴之）

年間給食数が減少となっている理由でございますが、まず、委員のおっしゃるとおり、主な要因としましては、児童生徒数の減少です。令和5年5月1日時点の児童生徒数は、対前年度比で353人減の1万1,834人でありますので、約2.9%減少しております。

他には、学級閉鎖の増加です。特に、令和5年度は、例年、冬に多いインフルエンザ等の感染症が、春から夏にかけて流行したため、学級閉鎖となり、給食数が減少しております。

アレルギーの関係でございますが、卵や乳製品のアレルギーがある方は、児童生徒数の0.4%から0.5%でございます。

以上であります。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにごございますか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

4ページの児童生徒指導事業の一番下の（3）児童生徒指導特別支援事業について、公募による大学生の学習チューターを派遣していただいているのですが、令和4年度の48名に対して、令和5年度は39名となっております、9名減少しております。これは、大学生の応募件数が減少したことが要因ではないかと思うのですが、事務局として、派遣したい大学生の人数が具体的に決まっていれば教えてください。

○教育長（中川宣芳）

采女学校教育課管理指導主事兼主幹。

○学校教育課管理指導主事兼主幹（采女隆一）

まず、学習チューターの人数が減少した理由でございますが、公募要件については、令

和4年度と変わっていないため、委員のご指摘のとおり、大学生の応募件数が減少したというのが主な要因です。

事務局として、派遣する大学生の人数について、具体的な人数は決めておりません。また、大学生に期待することとしては、2つあります。1つは、教員を目指す大学生が子どもたちと関わることによって、子どもたちが高揚感を持って、学校生活を送ることができるということです。もう1点は、この事業を通して、多くの大学生に教員を目指してもらいたいということです。

○委員（加藤由美）

ありがとうございます。

やってみたいという大学生が増えるように、PRをお願いしたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

4ページの4児童生徒指導事業（1）いじめ・不登校対策事業の表にあります、適応指導教室「カルミア」の指導員等の人数が4人に対して、「アイトワ」は1人となっており、令和5年度の児童生徒数は、「カルミア」が19人に対して「アイトワ」は14人となっております。

指導員等1人に対する児童生徒の人数を比較すると、大きな格差があるため、実態について教えてください。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

適応指導教室「カルミア」・「アイトワ」へのご質問をいただきました。

「カルミア」につきましては、指導員4名の他にカウンセラーなども配置しております。「アイトワ」につきましては、指導員等の人数が1人ではありますが、ボランティアの指導者を募っております。登録者は4名程おりまして、登録者全員が毎日いるというわけではありませんが、そのボランティアの方たちについても、児童生徒の学習支援や様々なケアにあたっております。

以上です。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

今おっしゃったボランティアの方というのは、元教員の方でしょうか。それとも、元教員以外の方もいらっしゃるのでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

元教員の方も、元教員以外の方もおります。ただ、「アイトワ」には、元教員の方で、過去に指導員として勤務されていて、辞められた方のうち、数名の方は、現在もボランティアとして、活動していただいております。

○委員（伊藤和子）

分かりました。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

ほかにございますか。

○委員（伊藤和子）

もう1ついいですか。

○教育長（中川宣芳）

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

同じ表の不登校児童生徒訪問についてですが、令和4年度から令和5年度度の相談件数が、60回も減少していますが、その理由について教えてください。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

不登校児童生徒の訪問指導員のことについてご質問いただきました。

委員のおっしゃるとおり、実績数は減少していますが、子どもたちやご家庭のニーズ、学校の考え方等にもよりますので、いつでも訪問していいというわけではありません。ご家庭によっては、高頻度で訪問されると困るとか、子どもにプレッシャーがかかってしまうというようなこともありますので、その状況やご家庭の考え等に基づいて、学校とも常に相談をしながら、訪問させていただいているところであります。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

例えば、お子さんが面会したくないとおっしゃられた場合に、ご家庭の様子や、そのお子さんの様子など、電話で対応されることはありますか。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

事案によっては、訪問だけではなくて、電話対応することもありますし、子どもに会うだけではなくて、親御さんとだけで会うとか、親御さんとだけ話をするというようなこともあります。

○委員（伊藤和子）

その電話対応等の件数も実績に入っていますか。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

入っております。

○委員（伊藤和子）

分かりました。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

○委員（伊藤和子）

もう一ついいですか。

○教育長（中川宣芳）

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

6 ページの 7 の教職員研修研究事業のところですが、特別研修の参加延べ人数が令和 5 年度では 4 5 0 人となっており、令和 4 年度よりも参加人数が増加しているのですが、増加理由と研修内容について教えてください。また、専門研修との違いについて教えてください。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

教職員研修のことについてご質問いただきました。まず、令和 5 年度の参加延べ人数の増加理由については、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことにより、令和 4 年度よりも、徐々にではありますが、参加者が会場に集まって開催する研修が増加したからであります。特別研修の内容としましては、教育論文を書くための研修や、消防の方にご協力いただきながら開催する、救命救急講習、AED 講習などがあります。

専門研修については、2 つの研修項目があります。1 つ目の「教育課題への対応」の研修内容は、発達障害や特別支援などについてであります。2 つ目の「教職員の専門性の向

上」の研修内容は、授業力の向上や児童生徒の理解などについてであります。

以上です。

○委員（伊藤和子）

ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかによろしいですか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

27ページの各市民センターで行われている講座のことについてですが、例えば、定員に満たない講座であったり、定員よりも多く応募があったりして、希望者が受けたいけれどもなかなか受けられない講座もあると思うのですが、全体を通してどんな状況なのか、教えてください。

○教育長（中川宣芳）

松浦東部市民センター所長。

○東部市民センター所長（松浦正記）

委員のおっしゃるとおり、受講できなかった講座を、次は受講したいという方もおみえになりますので、次回開催する際に、例えば、講座回数を減らして開催するなど、一部内容を変更し、対応しております。また、日程が合わなくて受講できないという方もおみえになりますので、ご希望に添えるような形で受講いただけるように企画をしております。

○委員（加藤由美）

受講者の皆様のことを考えて企画してくださり、ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

藤田文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（藤田伸也）

今のお話に関連いたしまして、25ページから26ページに、文化・スポーツ課が所管している各講座の状況が載っております。その中で何点か、実際の応募状況についてご紹介させていただきたいと思っております。

まず、市民の方に講師をお願いする市民企画講座の中で、特にお申込みが定員に対して多かった講座を数点お話させていただきます。まず、「初心者のためのやさしい骨盤底筋ケアヨガ講座」につきましては、定員が20名に対しまして、応募者数が61名でした。

次に、「弾いてみよう！ウクレレ講座」につきましては、定員20名に対しまして、応募者数が50名でした。今申し上げましたような、高倍率の講座や、定員に満たない講座も若干数ございますが、大体は定員と同程度の応募状況となっております。このような応募状況も踏まえて、今後の講座のあり方について考えてまいります。

以上でございます。

○委員（加藤由美）

ありがとうございます。受講希望者が受講できずに終わってしまわないように、同じ講座を複数回開催するなど、様々な工夫をして、講座の開催に取り組んでいただきたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第36号「議会の議決を経るべき議案について」は、原案について意見なしとすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第36号については、原案について意見なしとすることといたします。

次に、議案第37号「議会の議決を経るべき議案について」、事務局の説明を求めます。
矢本教育部次長。

○教育部次長（矢本博士）

それでは、ただいま議題となりました議案第37号「議会の議決を経るべき議案について」、ご説明を申し上げます。

7ページをお願いいたします。

提出理由であります。議会の議決を経るべき議案について意見を申し出るため、必要があるからであります。

内容につきましては、「令和6年度小牧市一般会計補正予算（第2号）」のうち、教育委員会分の歳入歳出予算補正、債務負担行為補正についてであります。

それでは、別冊2により説明させていただきますので、別冊2の1ページをお願いいたします。

最初に、第3表債務負担行為補正であります。

小中学校外国人英語指導助手派遣委託事業で、期間を令和6年度から令和9年度まで、限度額を1億4,690万円に設定しようとするものであります。これは、令和7年4月から外国人英語指導助手の派遣を委託するにあたり、受託者の事前準備期間が必要であること、また、契約期間が複数年度にわたり、その間の委託料の支出が見込まれることから、債務負担行為を設定するものであります。

次に、歳入歳出予算補正につきましては、2ページ、3ページをお願いいたします。

まず、歳入についてであります。17款2項6目教育費国庫補助金の255万2,000円の増額は、本市における不登校対策の一つとして、本年度、市内全小中学校において校内サポートルームの整備・充実を図るため、必要な消耗品と備品の購入費の財源として、教育支援体制整備事業費補助金を活用しようとするものであります。

続きまして、歳出についてであります。4ページ、5ページをお願いいたします。

内容につきましては、表の右の事務事業の概要欄により、ご説明をさせていただきます。

10款2項1目学校管理費で、1の小学校運営一般事業の30万円の増額、2の小学校施設管理事業の400万円の増額、10款3項1目学校管理費で1の中学校運営一般事業の50万円の増額、2の中学校施設管理事業の160万円の増額は、いずれも、本年度不登校対策として、市内全小中学校において校内サポートルームの整備・充実を図るため、必要な経費を計上するものであります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第37号について、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

野中委員。

○委員（野中亮秀）

今のご説明の中で、校内サポートルームの整備・充実を図るために経費を計上されるということですが、今後、どのような形で活用されていくのか教えてください。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

校内サポートルームは、令和5年3月に国から発出された「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を踏まえて、小牧市においての不登校児童生徒への支援策の一つであります。

学校には登校できるのですが、教室に入ることができないというような子どもたちの学びの場の保障や居場所づくり、相談活動がしやすい環境整備などの支援をするために、校内サポートルームの整備・充実を進めてまいります。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（野中亮秀）

今まではそのような部屋はなかったのですか。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

これまでも、それぞれの学校ごとに別室で対応しておりましたが、不登校の児童生徒の問題が社会問題化している中で、小牧市としましては、全ての学校で校内サポートルームを整備・充実していこうということでもあります。

○委員（野中亮秀）

よく保健室で過ごしている児童生徒もいると聞いたことがあるため、そのような部屋を整備していただけるのは、すごくありがたいと思いました。

ぜひよろしくをお願いします。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（野中亮秀）

はい。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

今のお話に関連したことですが、例えば、生徒数が多くて整備する部屋がない学校については、どのように対応されますか。

○教育長（中川宣芳）

瀬尾学校教育課指導主事兼主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（瀬尾宗利）

児童生徒数によって、潤沢に部屋がある学校もあれば、不足している学校もあります。委員のおっしゃるような、整備する部屋がない学校については、例えば、広い部屋をパーティションで2つに仕切って校内サポートルームの空間をつくるなどの工夫をしながら、全ての学校に整備できるように進めていきたいと考えております。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第37号「議会の議決を経るべき議案について」は、原案について意見なしとすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、議案第37号については、原案について意見なしとすることといたします。

続いて、報告・連絡事項に入ります。

初めに、教育総務課お願いいたします。

丸藤教育総務課長。

○教育総務課長兼学校教育 ICT 推進室長（丸藤卓也）

それでは、報告第1号、第2号を続けてご説明いたします。いずれも小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可についてでございます。

まず、8ページをお願いいたします。

最初に、報告第1号であります。一般社団法人愛知県臨床工学技士会の「第7回病院の機械を操作してみよう！～いのちのエンジニア体験～」でございます。

その内容は、臨床工学について興味を持ってもらうことを目的とした病院機械のエンジニア体験であり、催事の内容を総合的に勘案した結果、後援名義の使用を許可したものでございます。

9ページをお願いいたします。

次に、報告第2号であります。小牧ライオンズクラブの「小牧ライオンズクラブ平和講演会」でございます。

その内容は、平和について考えるきっかけとすることを目的としたパネルディスカッション、平和講演会等でございます。催事の内容を勘案した結果、後援名義の使用を許可したものでございます。

続きまして、報告第3号「小牧市新たな学校づくり推進計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について」でございます。資料はございません。

令和6年7月10日から令和6年8月9日にかけて、小牧市新たな学校づくり推進計画（案）に対する意見募集を行った結果、28名の方から、合計60件のご意見をいただきました。

実施結果につきましては、「提出された意見と市の考え方」を9月2日から市ホームページ、教育総務課、情報公開コーナー等で公表するとともに、広報こまき10月号にてお知らせをする予定ですので、ご承知おきよろしくをお願いいたします。

次に、「連絡事項 9月・10月の行事予定」であります。

10ページをお願いいたします。

最初に、9月の予定です。

2日月曜日は、小中学校、第一幼稚園の始業式でございます。

また、2日、10日、11日、12日は、本会議が開催されます。

11ページをお願いします。

18日水曜日は、福祉厚生委員会、福祉厚生分科会。

19日木曜日は、文教建設委員会、文教建設分科会が開催されます。

24日火曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301の会議室で開催いたします。

25日水曜日は、本会議が開催されます。

続いて、10月の予定でございます。12ページをお願いいたします。

15日火曜日は、愛日地方教育事務協議会が豊明市役所で開催されます。
13ページをお願いいたします。
25日金曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301の会議室で開催いたします。
30日水曜日は、尾張部都市教育長会議が長久手市文化の家で開催されます。
9月・10月の行事予定は以上でございます。
以上で、報告・連絡事項とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

それでは続いて、学校教育課、お願いいたします。
吉田学校教育課長。

○学校教育課長（吉田隆）

3点報告させていただきます。
まず、報告第4号「令和6年度小学校運動会・中学校体育大会について」であります。
14ページをお願いします。
運動会・体育大会の日程がおおむね決まりましたので、一覧表にて提示させていただきました。

なお、これは現時点の予定でありますので、今後変更がある場合もあるということをご承知おきいただけますようお願いいたします。

次に、報告第5号です。15ページをお願いします。

愛知キッズマネースクールかぞく校より、「はじめての投資～あのおかしが投資で誕生?!～」について、後援名義使用の申請があったものでございます。

この内容は、小学3年生から6年生の児童とその保護者10組を対象に、投資ゲームを通して投資の基礎知識を学ぶというものでございます。

催事の内容を総合的に勘案した結果、後援名義の使用許可したものでございます。

次に、報告第6号と文化財課の報告第7号「行政文書の開示について」は、同一の案件でございますので、私からご説明させていただきます。資料はございません。

令和6年7月4日付けで県外の法人1者から、市教育委員会事務局に所属する部署が締結した保険の始期が令和5年6月1日から令和6年5月31日までで保険料が3万円以上の傷害保険、賠償責任保険等の保険証券等の写しの開示請求がございました。

この開示請求に対しましては、7月17日付けで、代表者の印影を除く一部開示決定を行いまして、請求者の方に通知をしたところでございます。

以上です。

○教育長（中川宣芳）

続いて、文化・スポーツ課、お願いします。
藤田文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（藤田伸也）

それでは、文化・スポーツ課より、報告第8号から第11号まで報告をさせていただきます。

初めに、報告第8号「令和5年度一般財団法人こまき市民文化財団事業報告及び収支決算について」であります。

別冊3の1ページをお願いいたします。

令和5年度の事業報告であります。

中段の2にありますよう、文化事業として、普及、伝統文化、舞台公演、美術、こまなび、広報の6部門において、1ページから15ページまで記載しておりますよう、市民の文化活動を支援し、市民とともに新しい小牧の文化を創っていくことを目的に、文化芸術に接する機会や情報の提供、文化振興を目指した事業の実施、文化活動に対する助成等各種事業を実施し、文化芸術の振興及び生涯学習の推進に努めました。

15ページをお願いいたします。

施設運営事業につきまして、小牧市から指定管理者として指定された、市民会館、市公民館、中部公民館、小牧山歴史館、青年の家、創垂館及び小牧山城史跡情報館の7施設について、16ページから24ページまで記載しておりますように、管理を行うとともに、施設の機能と魅力を最大限に生かした事業を実施いたしました。

26ページをお願いいたします。

続きまして、令和5年度の収支決算についてであります。

正味財産増減計算書の1の一般正味財産増減の部、1の経常増減の部でご説明させていただきます。

(1)の経常収益につきましては、基本財産運用益から雑収益までで、中段の経常収益計で4億6,629万7,000円余であります。

次に、(2)の経常費用であります。すぐ下にある事業費といたしまして、財団の主催事業、市の委託事業及び施設管理事業等に要した経費といたしまして、合計3億7,921万6,000円余、少し下に行った管理費といたしまして、財団事務局の運営に要する経費といたしまして、8,910万3,000円余で、27ページをお願いいたします。中段より少し上となりますが、経常費用計で4億6,832万円余となっております。

続きまして、報告第9号「令和5年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業報告及び収支決算について」であります。

別冊4の1ページをお願いいたします。

令和5年度の事業報告についてであります。

1ページから14ページまで記載しておりますよう、市民の発意や要望に密着したスポーツの振興と市民総スポーツ化を目指した生涯スポーツの進展、ジュニア育成事業をはじめとする選手強化や競技力の向上に積極的に取り組みました。

また、南スポーツセンター、さかき運動場、総合運動場、大輪体育館、スポーツ公園及びスポーツ広場について、指定管理者として施設の効率的な管理運営に努めました。

16ページをお願いいたします。

続きまして、令和5年度の収支決算についてであります。

正味財産増減計算書の1の一般正味財産増減の部、1の経常増減の部でご説明を申し上げます。

(1)の経常収益につきましては、基本財産運用収益から雑収益までで、中段の経常収益計で5億4,184万9,000円余であります。

次に、(2)経常費用であります。すぐ下にある事業費支出といたしまして、協会の主催事業、市の委託事業及び施設管理事業等に要した経費といたしまして、合計5億1,138万7,000円余。

17ページをお願いいたします。

上段の管理費として、協会事務局の運営に要する費用といたしまして、合計3,092万6,000円余で、中段の経常費用計で5億4,231万4,000円余となっております。

なお、この内容につきましては、先の報告第8号とあわせまして、令和6第3回定例会で報告をするものとなります。

続きまして、報告第10号、第11号の「小牧市教育委員会名義申請（後援）の許可について」2件、一括してご報告をさせていただきます。

18ページをお願いいたします。

報告第10号で、グラディールスポーツクラブより、「サッカー無料体験会」について、後援名義使用の申請があったものであります。

その内容は、年少の園児から小学6年生までを対象にサッカーの普及を目的に、無料体験会を行うものであります。

20ページをお願いいたします。

続きまして、報告第11号で、尚美会より、「第11回尚美会展」について、後援名義使用の申請があったものであります。

その内容は、日本画を通じて絵を描く楽しさを広め、啓蒙を図るために、日本画の展覧会を開催するものであります。

この2件に関しましては、催事の内容を総合的に勘案し、いずれも後援名義使用を許可したものであります。

以上でございます。

○教育長（中川宣芳）

続いて、東部市民センター、お願いします。

松浦東部市民センター所長。

○東部市民センター所長（松浦正記）

東部市民センターより、2件の報告でございます。

まず、報告第12号「行政文書の開示について」でございます。資料はありません。

7月25日付けで、市外の業者より、東部市民センター駐車場補修工事に伴う金入り設計書の開示請求がありましたので、全面開示とした上で、7月31日付け、請求者の方に通知をいたしました。

次に、報告第13号「東部市民センター駐車場補修工事に伴う一部区画・出入口封鎖について」であります。資料はございません。

本年度実施します駐車場の補修工事に伴いまして、8月28日及び8月29日は、センターの敷地西側の消防署方面の駐車場が部分的に一部通行止めとなりますので、ご承知おきをお願いいたします。

以上でございます。

○教育長（中川宣芳）

報告・連絡事項は以上であります。何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいですか。

（発言なし）

それでは、ほかに何かご発言はございませんか。

よろしいですか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、以上をもちまして、令和6年第8回定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

<閉会 午後3時10分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員